

2010年5月9日

**経営関連学会協議会
第2期 第5回理事会 議事録(案)**

1. 日 時：2010年5月9日（日） 13：00～16：00
2. 場 所：中央大学 駿河台記念館 5階 500号室
3. 出席者： 小林康司，能勢豊一，野々山隆幸，野村健太郎，西田安慶，貫 隆夫，平野文彦，
林 正樹，高橋 誠，松原成美，八田進二，阿部周造
(幹事)柳 裕治
(理事長補佐)氏原茂樹，椎原正次

(敬称略)

4. 議題

①第2期第4回理事会議事録および第2期第2回評議員会議事録の承認

既に ML を使って役員の先生方に送付済みであり、特に意見が無かったので承認されたものとして扱うことが承認された。今後、修正が必要な場合は、事務局に連絡することになった。

②日本ディスクロージャー研究学会の入会について

日本経営ディスクロージャー研究学会とディスクロージャー研究学会が統合されて、日本ディスクロージャー研究学会が設立された。新しい学会から配付資料のとおり当協議会への入会申し込みがあった。両学会とも既に会員学会であることから、小林理事長より特に審査なく入会を認めることが提案され承認された。経営分野の学会として登録される。

③平成21年度決算報告書について

野村副会長より、配付資料の通り説明があった。過年度の会費収入や HP 運営費、ニューズレター作成費、評議員会費等について質疑があった。そして金額の誤りが訂正された。また、ニューズレター作成費はニューズレター追加印刷費に、繰越収支差額は繰越額に名称を修正することになった。後日、会計監事に監査をお願いすることになる。

④各担当理事からの活動報告

a.企画・広報について

平野・高橋理事より2010年度の企画について配付資料の通り説明があった。本年度も『経営教育』をテーマにして進めることが提案された。また、小林理事長より、昨年度のアンケート結果とシンポジウムでの議論等をまとめて自費出版する計画とその経費について配付資料の通り説明があった。その後、アンケートの回収率や字数制限等の問題や今後取り上げるべきテーマのあり方について議論された。その結果、2010年度は経営教育及び経営学教育についての課題を取り上げることになった。2009年度に行った「経営学の明日を創る」と題するシンポジウムとそれに関連した検討結果を自費出版として刊行する。同時に、日本学術会議で検討されている大学教育の質的保証、とりわけ経営学教育の質的保証について、シンポジウムを開催する。

b.海外支援検討について

貫理事より SSCI 問題については、まだアンケートの回収率が低いので回収を進めていることが報告された。

c.ニューズレターについて

林理事よりニューズレターが3月に発行されたことが報告された。

d.ホームページについて

野々山副理事長より、議事録、学会の統合、ニューズレター等をホームページに掲載することが報告された。

e.メーリングリストについて

能勢副理事長より、評議員のメールアドレスの変更と日本ディスクロージャー研究学会の評議員の ML への登録について報告された。また、会員学会の大会開催予定についても配付資料の通り報告された。

⑤平成 22 年度の活動について

奥林理事長より、本年度のシンポジウムや出版する計画について説明がなされ了承された。

⑥平成 22 年度の予算について

野村副会長より、配付資料の通り説明があり了承された。

⑦その他

a.協賛について

日本企業経営学会主催の第3回国際学術研究大会に協賛することが了承された。この大会は九州国際大学で2011年2月に開催される予定である。

b.学会誌名の調査と HP への掲載について

林理事より大会の開催予定だけではなく、学会誌名も調査して HP に掲載するほうがよいとの提案があり了承された。

c.次回の理事会・評議員会・シンポジウムの日程と場所について

次回の予定は、11月21日に開催することになった。会場は専修大学か青山学院大学を予定している。詳細は理事長と企画・行事担当理事で詰めることになった。